

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業			
予算科目	8 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画			
所管課情報	担当課: 都市整備課		電話番号(内線): 0	
記入者情報	所属長: 日山 一正		担当責任者: 森下 久史	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】平成27年度			
事業の対象	JR車両基地・貨物駅整備周辺住民			
根拠法令等	社会資本整備総合交付金、愛媛県車両基地・貨物駅等周辺整備対策補助交付要綱			
事業の目的	JR車両基地・貨物駅等整備による周辺地区への環境変化を軽減するため道路等の整備を行う。			
事業の内容	JR車両基地・貨物駅周辺の道路等の整備			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	事業全体の変更について県担当者と協議を行い、事業実施個所等の変更を行い全体の事業費の確認を行った。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	31,027	31,000	5,500	23,261
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
	合計	0	32,627	6,313	24,888
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
財源内訳	国庫支出金	18,600	11,760	0	11,760
	県支出金	6,200	3,920	0	3,920
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,826	16,947	6,313	9,208

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
道路改良延長	m	499.5	120	0	113

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	当年度までの事業費÷全体事業費			
指標設定の考え方	進捗状況の把握			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	32	52	81	100
実績	19	23.8	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度も要望額以下の事業費であったため事業進捗が遅れている。事業進捗について県担当部局と協議を行い事業年度の修正を行う。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度も要望額以下の事業費であったため事業進捗が遅れている。事業進捗について県担当部局と協議を行い事業年度の修正を行いたい。また、新駅設置工事については、駐輪場の整備について、松前町と協議を進めていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・周辺整備は地域にとって大変大事なものである。国、県の予算を早急に付けていただくようお願いしてもらいたい。・予算が付かず、なかなか計画どおりに進んでいないということであるが、国体までにはきちんと完成させればいいかなと思う。・予算が付かないものを急げというのは、ないものねだりではないと思う。与えられた環境の中で、最小の経費で最大の効果が出るようなものさしでやっていただきたい。
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	予算が付きにくいこともあるが、本市の重要事業の一つであり、重点化としたい。